

## 自分の考えを表現できる子(思考力・判断力・表現力の育成)

ご存じの方も多いと思いますが、今年度から小学校で新学習指導要領が全面実施されています。(中学は来年度から)「生きる力」(豊かな心・確かな学力・健康な体・体力)の育成という、大きな柱は変わりません。何が変わるかといえば、下の図にあるように3つの観点で学力をとらえ、より一層「思考力・判断力・表現力の育成」がクローズアップされたといえるでしょうか。生きて働く知識・技能を習得し、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力を育て、その学びを人生や社会に生かそうとする人間性を持った人材が育てば、日本も安泰でしょう。通知表が今年度から3観点になったのも、こういう背景がありますのでご承知おきください。

### 学習指導要領改訂の方向性

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる  
思考力・判断力・表現力等の育成

### 何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

### 何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた  
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の新設など  
各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

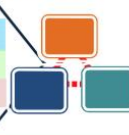
学習内容の削減は行わない※

### どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び(「アクティブ・ラーニング」)の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成  
知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善

主体的な学び  
対話的な学び  
深い学び



私も今回長い休業を経験し、未知の状況に対応できる力は必要だと痛感しました。そこで、美合小でも「自分の考えを表現できる子」と掲げて、思考力・判断力・表現力の育成に力を注ぎたいと考えました。さしあたり、授業内で素晴らしい表現力を発揮した子を表彰する場を設ける予定です。今、子供たちの国語や算数のノートを見せてもらっています。発想や視点が鋭かったり、深い読みができていたり、独自の解き方が面白かったり、いいなあという子が大勢います。そんな子供たちを褒めてあげたいと考えています。ときには、お子様のノートを見てくだされば幸いです。



飼育部・スポーツ部体験



バスケットボール部見学

四年生が部活  
見学・体験開始

校長室  
だより

校訓 よく見る よく考える 助けあう

伸びるのだ  
励むのだ



R2.6.29(月)  
NO. 9



半夏生の花  
(左)と白い葉

〈今週の言葉〉 半夏生(はんげしょう)  
七十二候の一つで夏至から十日前後の日。  
今年七月一日。植物の「半夏生」は、片白  
草・半化粧とも言い、花期に葉が白くなる。